顯宗天皇三年。武烈天皇三年。並十七の人雜色と記す。

三國史記ニ曰く。新羅炤知八年夏四月。倭人犯境。同十九年夏四月。倭人犯邊。

武烈天皇四年。梁主武王と進発て征東大將軍と號す。

南史ニいはく。梁武帝即位。進武號征東大將軍。

六年。この人新羅の長峯鎮を攻て破れり。

三國史記ニ曰く。炤和二十二年春三月。倭人攻陷長峯鎮。

繼體天皇十六年。其人こつ〻年號をたて善記元年とす。

善記等の年號。後世ニ之と九州年号やうの。是亦武王の建たる年号なるべし。りく〻善記より大長ニ以て。およそ一百七十七年。其間年號連綿たり。麗氣記私鈔ニ海東諸國記をもて之を載せ。伊豫の溫泉銘。豊後建城寺ノ棟札ニ用ひ。如是院年代記ニ朱書して出し。其外諸書ニ往々見えたり。されど諸書載ること異同あり。今ハ世ニ行て參考すべきものを左ニ出す。

善記

他の元年繼體天皇十六年壬寅。梁普通三年ニあたる。海東諸國記ニ。善化十作ニ。如是院年代記ニ。壬寅ニ作る。亦是年ニ在之。云ふ分者朱ニテ書之。年數相違之處在之不審ニ存。和漢年契ニ曰く。繼體帝之時善記四年歟

正和

継體天皇二十年丙午。正和元年ヤレル。孔方不知品ナ。正和通寶アリケリ。

製人北鋳ラ。そのあり。桂林漫録ナのごとく。下野国河内郡ある。正和元年建立の磯塔婆ハ花園帝北正和元年壬子北とのこ。浸ぎ磨うしび。年契

ナ曰く。正和五年ニ終。

殷到

継體天皇二十五年辛亥。殷到元年ヤレル。海東諸国記發例ナ作リ。如是院年代記ナ教到ナ作ル。同書ナ。教到元始作唐ヤなるべし。ある製人のごとさ

ラ。一説ナ。正和七殷到とあ。問ナ定和常色北二年弟ア。年契ナ曰く。

定和七年終。常色八年ニ終。教知五年終。一作教到。又曰殷到。按自四年至五年

係安閑帝之時。續教訓勅ナ。寺記ニ。人王ナ八代安閑天皇御宇教到元年丙

辰駿河国宇戸ノ濱ニ天人アマクダリ云ヒトヽく。殷到ハ教到のう

さなり。

僧聽

宣化天皇九年丙辰。僧聽元年ヤと改む。年契ハ曰く。宣和帝之時。僧聽四年終。

貞享年代紀五古部ナ金剛山。宣化天皇僧聽元年。西空ニ菩薩ト唱来

藏王明王役行者作ニ大和国ニ立。是寺ノ説もあり。縁起ありとう。

さる説ちる。色りれハ僧聽と云年弟のごく行れ。證ちる

一。

欽明天皇元年。りれが僧聽五年。その人衆と率て歸附ス。

紀ナいさく。元年三月。百濟人並率衆歸附ス。

明要

欽明天皇二年辛酉。明要元年也。海東諸国記ニ同要ニ作ル。年契ニいとく。欽明帝之時。師安一年。終。大長三年。終。法清四年。終。清一作靖。只永和一年。終。一作元年。明要三年。終。或云十二年。藏知一年。終。知一作和。知僧一年。終。或云七年是等こゝ前後不同せるものとす。

貴樂

欽明十三年壬申。貴樂元年也。年契曰く。貴樂八年。終。或云二年。江島縁起ニ。きんめい天王ゆきよゝき成くえもんたちのえさる四月十二日いぬのとくよりせ三日そつのおくよりてゝまで。えのちんらいこ（本こゝ）さいのミるとゝぐちにこんかあん屋いこして。天さいりんさ舞さうゝ。

法清

欽明十五年甲戌。法清元年也。海東諸国記ニ結清ニ作ル。

元永

欽明十九年戊寅。元永元年也。

藏和

欽明二十年己卯。藏和元年也。如是院年代記ニ藏知ニ作ル。

師安

欽明二十五年甲申。師安元年也。

知僧

欽明二十六年乙酉。知僧元年也。海東諸国記ニ和僧ニ作ル。

金元

欽明三十一年庚寅。金元元年ヤレ改む。年契ニ曰く。金元六年。或云四年。

賢樓

敏達天皇五年丙申。賢樓元年ヤレ改む。海東諸国記ニ。樓と接ニ作る。也是院年代記ニ。称ニつく。年契ニ曰く。敏達帝之時、賢朝五年。終。朝一作樓又作樓。

鏡常

敏達十年辛丑。鏡常元年ヤレ。海東諸国記ニ常と當ニ作る。豊後国大野郡内山蓮城寺棟札。鏡常年号と用ル。年契ニ曰く。鏡常四年。終。鏡一作鑑

勝照

敏達十四年乙巳。勝照元年ヤレ。年契ニ曰く。照勝四年。終。一作勝照。又曰く。

用明帝之時。和童二年。終。

端政

崇峻天皇二年甲寅。端政元年ヤレ。如是院年代記。端改ニ作る。年契ニ曰く。崇峻帝之時、端政五年。終。豫章記ニ。柏三嶋大明神御宇天下崇峻天皇治宇端正三年庚戌。富国追ニ浦。天降ニ五ヲ立ル。

吉貴

推古天皇二年甲寅。吉貴元年ヤレ。海東諸国記ニ。從貴ニ作る。年契ニ吉貴ニ作る。曰く。推古帝之時。吉貴十年。終。又曰く。按一説。推古元年。為喜樂二年。唐端ニ三年。始ル。自四年至十年。為法興。是四年節。通計十年。而

終。與三貴年數。正相符。則十年之間。蓋興造寺正相行也歟。いま按ずに。伊予風土記ニ。湯郡ニ。天皇等於湯幸行降坐立度也云し。于時立湯岡側碑文ニ云。記曰法興六年十月歲在丙辰云々。丙辰ハ推古天皇廿四年ナリて。さるハち法興寺ノ成し年ニ。ナリ。年を法興六年ヤとるバ。その元年ハ。崇峻天皇ノ四年辛亥ニ。なるなり。今記する必とゐもひ。從ふべし。

顧轉

推古六年辛酉。顧轉元年ヤ。海東諸國記ニ顧轉ト作る。年契ニいはく。顧轉四年終。

光元

推古十三年乙丑。光元ニ年ヤ。如是院年代記光元ニ作る。年契ニ曰く。元元六年終。一作ニ光元ニ。又曰光元。

定居

推古十九年辛未。定居元年ヤ。今按ずに。童永板夫符緣起集說ニ云ハく。吾朝推古女帝人王三十四代ノ御宇ニ。百濟國定居元年辛未。聖明王第三ノ御子琳聖太子。吾朝ニ渡リ玉ヒテ。此法ヲモワラ弘メ玉フ。其後儒佛神トモニ執行シケルト。舊記ニ見タリヤ。ト云。此舊記ヤ以ゐるハ。何ものの書なるやさだかならねども。書ぶりなどを。ふるまひ。既ニ九州年號と百濟の年號ニと心得て書ル。大内義隆記ニ。誠ニ中ヲ中セバ。百濟國ノ王子琳聖太子ト申セシカ。日本國周防國ノ内ニ住居シ玉ヒシと記セり。

倭京

推古二十六年戊寅。倭京元年也。此年前。海東諸国記ニハ云ハ。麗史記ニハ云ハ。如是院年代記ニハ。和京纔二ツ。年契ニハ曰ク。和京五年。終。一作和京纔。又曰ク。按和京元年又為定居元年。定居七年終。和京五年終。則仁王元年即為定居六年。蓋是二年前。亦互相行也耳。

仁王

推古三十一年癸未。仁王元年也。年契ニハ仁王の次ニ。節中ノ二年前とのけたり。曰ク。仁王六年。終。節中五年終。

聖聴

舒明天皇元年己丑。聖聴元年也。如是院年代紀ニ。聖徳ニ作ル。年契ニハ曰ク。聖徳三年終。一作聖聴。

僧要

舒明七年乙未。僧要元年也。年契ニハ曰ク。僧安五年終。一作僧要。

令長

舒明十二年庚子。令長元年也。年契ニハ曰ク。明長五年終。一作令長。又曰長令。又曰。按自三年至十年。係皇極帝之時。

右大化以前の年號。

常色

孝徳天皇三年丁未。常色元年也。されと年契ニハ継體帝之時の年號と以前ニ入れたり。

白雉

孝徳六年庚戌。白雉元年と云。白雉ハ殺人の走る所の年號。朝廷ニ是ハ是
歳白鳳と改元し給ふと申しつたへ。あれ共諸書と引て論らいへとも。
齊明天皇元年。あるいハ白雉六年。その人衆と率て内屋。
齊明紀ニ曰く。元年是歳蝦夷人率ヒ内屋。詣闕朝献ス。

朱雀

天武天皇元年壬申。朱雀元年と云。年契ニハ白雉朱雀の二年號とあるさ
ばいて。これ壬申元暦安の二年號とあるて曰く。天智帝之時。中元四年。
終。又曰。按戊辰。白元年。天武帝之時。朱安。又曰。按不審年數。

大和

特統天皇九年乙未。大和元年ハ云。此年號鹿氣記ニハ見えず。海東諸國記
ふいのとあり。孔方不知品ニ。大和通宝ハ。大和年中ニ。かなら鑄
たるおてもいつ度し。年契ニ曰く。特統帝之時。大和。又曰。按不審年數。

大長

文武天皇二年戊戌。大長元年ハ云。年契ニ曰く。文武帝之時。大長。又曰。按戊
戌。白元年。

右大化以後年號九州年號ありて。ゆ終るいま本文ニ引ところハ。九州年號
を題し。たる古写本ニ据るとの。
今ハ。ふ。文武天皇の大寶以前の年號ハ。九州年號とまか多くものゝ
んもとまかゝ。よくく考度きる。今試ニ。朝廷ハて年號之説

る事ハ孝徳天皇の大化元年と始やしその六年白鳳ヤ改元。ものよる天
武天皇ハ元年ヨリて白鳳と用ひ給ひ。天武天皇の元年朱鳥ヤ改元。これよ
リ文武天皇五年ヨリて。朱鳥と用ひたまひ。文武天皇五年大宝と改元ありて
しかやこれハ朝廷の白鳳元年ハ。九州年號ハ白雉元年ヨリ當り。朝廷の
朱鳥元年ハ九州年號の朱雀元年ヨリ當る。もちろんかハ書紀ヨリ
ハ孝徳の御世ハ白鳳と。九州年號の白雉ヲ取ヨリ。白鳳と朱鳥
ヤ改元なし。天武天皇の元年と。還て白鳳元年ヨリ。朱鳥ヤ改元
なし御事とハ。帝の末年ヨリ。ものよる事なるやあらん。續日本紀ヨリ白鳳以
来。朱雀以前ヨリ。朱雀ハ朱鳥ヨリ。朱雀ヨリ云ハそるはヨリ九州年
號ヨリ。まこと日本紀。嵯峨天皇大同五年九月丙辰の詔ヨリ曰く。朱鳥以前
未有年號之日。難波御宇始題大化之称。ものよる孝徳の御世より。
明天智天武持統文武帝よて白鳳の年號のみ用ひ給ひ。諸書ヨリ
ゆ。其ハ古語拾遺ヨリ。難波長柄豊前朝。白鳳四年ヨリ。大織冠伝ハ白鳳
五年天高豊日天皇己。獻高麗登極白雲。皇祖母尊侍從物願再度賓層。以
庶務委皇太子。ものよる白鳳十四年。皇太子摂政ものよる。豊前朝ハ孝徳
帝の御ものよる。天高豊日天皇ヤヤ。ものよる孝徳帝の御詞。皇祖母尊ヨリ
るハ。斉明帝の御事。皇太子ハ。ものよる天智帝。役公傳役行者ヨリ。白鳳此
七年丁酉ヤあるハ。文武天皇元年。五十六年ヤ。ものよる。慶雲三年ヨリ。九
章秋書ものよる。二所太神宮例文遷宮次第。白鳳十三年庚寅九月。太神宮御
遷宮。注持統天皇四年也。朱鳥二年壬辰外宮御遷宮。注同御宇六年ヤ云。

ことに引き年號いぬすーやつくやも。文武の御代よりも。白鳳の年號
さしに据れば。持統の中代い勿論ぢ。但十三年ヤ記さるる揚合ハ。
こゆる神皇正統紀ヤ。文武天皇即位五年辛丑より始めて年號ヲ大寶
とつ。是より先ヤ孝德の御代ヤ。大化白雉。天智の御時ヤ白鳳。天武の御
代ヤ朱雀。朱鳥。ゴ云号をしらず。大寶より後ヤそ。たえぬるハいるーぬ
る。仍て大寶と年号ヤ初てきるこ。ーたえたり。おもヤ天智の御時白鳳ヤ
とるせるーと一つの證ーきる。扶桑畧紀五ニハ。天武元年八月。立年号為
朱雀元年。云い二年三月云い。仍改為白鳳元年。倉至十四年ヤ。水鏡と
同じ。如是院年代記ハ。孝德天皇元年ヤ。大化と年號たてぬひーるたえ
代。六年の下ヤ細書ヤ白雉元年二月長門國獻白雉ヤ改元白雉ヤえ。天武

天皇より下の細書ヤ。即位之年。車。改元朱雀。二年ヤ下の細書ヤ改元白鳳。
十三年の下ハ。朱雀元ヤ朱書。十五年ヤ下ヤ。大化元ヤ朱書。細書ハ。和
州獻赤雉。因茲改朱鳥ヤ。元ヤ持統天皇六年ヤ下ハ。大長元ヤ朱書。文武
天皇大寶元年より。年號と大書ーて。細書ハ。三月二十一日。改元年號始
於此。是歳對馬島貢金。由是三月二十一日甲午改元大寶ヤ。あ。是等ヲ摘
てゆ。ーつハ。朝廷ヤてきーく年号と建ヤ。ひたるハ。ハの大寶ヤ始ヤて。
是より以前の年号ハ九州年号ヤ。だ。ひハよ。ひたるれる年。白鳳と
白雉ヤ。朱鳥ヤ朱雀ヤ。義ハ相近く。大化ヤ大和と。音相同じきと思ひし。
文武天皇四年。役ヤ大長三年。襲人兵と持て剥却ーて。國使刑部真木等と殺さ
ーヤて。於是帝位志摩領ヤ勅ーて。決討せーめ給ふ。

文武紀四年六月庚申。薩末比賣久賣波豆花計督衣君縣助督衣君三目美。
久肝衝難波從肥人等。持兵剽劫覓國史刑部眞木等。於是勅竺志惣領推狛
夷四討。
同帝大寶二年。役ヶ大長五年。帝兵を遣ハして征討せしめ。遂に戶を校して史
と置きめ給ふ。
續紀大寶二年八月丙申。薩摩多禰隼人化逆。於是發兵征討。遂校戶置吏焉
九月戊寅。討薩摩隼人。軍士校勳各有差。冬十月丁酉。先是征薩摩隼人時。得
祈太宰所部神九座。實賴神威。遂平荒賊。爰奉帝命。以表其勳焉。爲吏國司等。
今薩摩國ニ。於國內要害之地。建村置戍。子之許焉。
元明天皇和銅二年。蝦夷入朝。

續紀和銅二年十月戊申。薩摩隼人郡司已下一百八十八人入朝。徵諸國騎
兵五百人。以備威儀也。
同六年。日向國四郡を割て。始て大隅國を置めり。
續紀和銅六年四月乙未。割日向國肝坏郡於大隅。始置大隅國。定
蝦夷人を治めん。御計參ひ給ひたり。七年閏二月壬寅。隼人薩野ノ未習
憲法。因移豐前國戶二百戶。令相勸導。と云ふ。同紀十八年
元正天皇養老四年。その人大隅國守陽侯史麻呂を殺す。三月帝中納言正四位
下大伴宿禰旅人を征隼人持節大將軍とし。授刀助從五位下笠朝臣御主。式部
少輔從五位下巨勢朝臣真人を副將軍として。征て平ぶ。十五年
蝦夷入ぶ。